

各種がん検診精密検査費用の一部助成について

青森県のがん死亡率が1位の理由、それは、がん症状が進行してから受診している現状があります。村では、村民のがん死亡率を低下させるため、精密検査が必要な方々の早期受診早期治療に結びつけるために、以下のとおり各種がん検診精密検査費用の一部助成を実施しますので、御活用ください。

(1)費用助成対象者 次の①～③の全てに該当する方

- ①令和6年度田舎館村がん検診で精密検査となった方
- ②上記がん検診受診日から1年以内に初回精密検査を受けた方
- ③申請日に村に住所がある方

(2)費用助成額 がん1種類につき 半額助成（上限3,000円）

裏面の精密検査を実施した初回の検査費用が対象です。

- ・入院により精密検査を実施した場合や、同時に治療を行った場合を含みます。
- ・精密検査に付随する事前の問診や採血、結果説明等の診療行為を含みます。

(3)費用助成方法 償還払い（通帳へ助成金を振込します）

(4)申請方法

田舎館村各種がん検診精密検査料助成金交付申請書（厚生課健康推進係にあります）に必要な事項を記入のうえ、下記担当まで提出ください。申請書の提出の際には、次の添付書類（3種類）も忘れずに提出ください。

申請期限 精密検査を実施した月の翌月から起算して2か月以内
（7月中に検査をした場合9月末日まで）

添付書類 ①精密検査に係る領収書の原本
②検査方法が記載されているもの（診療明細書等）の原本
※裏面に精密検査の方法一覧があります。
③振込みを希望する口座の通帳又はキャッシュカード

担当：田舎館村 厚生課健康推進係
電話 5 8 - 2 1 1 1 (152・153)

精密検査の方法一覧

・胃の精密検査

胃内視鏡検査を行います。必要に応じて、生検という細胞組織をとり、がんかどうかを調べます。

胃内視鏡検査: 胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。麻酔や胃の動きを抑える注射をして、内視鏡を口や鼻から挿入します。

・大腸の精密検査

第一選択は全大腸内視鏡検査です。場合によっては、S状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用で行うことがあります。 * 便潜血検査の再検は精密検査とみなされません。

全大腸内視鏡検査: 大腸すべてを内視鏡で観察する方法です。事前に下剤を服用し、肛門から内視鏡を挿入し検査します。

注腸エックス線検査: 事前に下剤を服用し、肛門からチューブを挿入してバリウムと空気を注入し、大腸のエックス線写真を撮影します。

・肺の精密検査

胸部CT検査や気管支鏡検査で行います。

* 喀痰細胞診要精検者に対する喀痰細胞診の再検は精密検査とみなされません。

胸部CT検査: CTスキャナーと呼ばれる検査装置の寝台に横になり、胸部のエックス線写真を撮影します。

気管支鏡検査: 気管支鏡を口から気管支に挿入して、直接観察します。必要に応じて細胞を採る検査をすることがあります。

・乳房の精密検査

マンモグラフィの追加撮影、乳房超音波検査、MRI、CT、穿刺吸引細胞診や針生検等を行います。

マンモグラフィ: 詳しく観察するため、多方向から撮影します。

乳房超音波検査: 超音波により詳しく観察します。

乳房MRI検査: 寝台に横になり、強力な磁石でできた筒の中で、磁気の利用して撮影する検査です。

穿刺吸引細胞診、針生検: しこりなど疑わしい病変が見つかった場合、細い注射針を刺して中の細胞や組織を採取して調べます。

・子宮の精密検査

コルポスコープ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施します。

コルポスコープ: 子宮頸部の粘膜表面を拡大し、細かい部分を観察できる医療器械です。観察と同時に粘膜の組織を採取して検査します。

組織診: 疑わしい部分から組織を採り、標本をつかって顕微鏡で診断します。